

【ご質問①】

温暖化が進むと、一般に氷河期の生き残りのようなサケ科魚類は、生残が難しいのではないのでしょうか。

【回答】

温暖化の進行で冷水性のサケ科魚類は分布の中心が高緯度地域に移行すること、また南限に分布する個体群はより標高の高い場所へ移動することが予想されます。温暖化影響は、魚そのものの温度に対する耐性が直接の要因となって顕在化する場合がありますが、温暖化によってこれまで農耕に適さなかった土地が開拓され、サケ科魚類の生息環境を破壊することによっても引き起こされます。私の話では後者の影響について紹介させていただきました。

【ご質問②】

落差工を作るとどうして洪水が減らせるのでしょうか。

【回答】

落差工を設置しても洪水を減らすことにはつながりません。直線化で増大した河床勾配を直線化以前の勾配に戻してやることで、水の流れを緩やかにすることを目的に建設されます。

【ご質問③】

支流で暮らしておきながら産卵のために本流に戻ってくるというのは遡上とは逆ではないですか。

【回答】

支流は産卵の場、稚魚の生息の場です。成長とともにイトウは生息の場を下流に、そして海へと移っていきますが、成魚になって産卵期を迎えると再び河川本流を遡上し、支流で産卵を行います。